

2007年4月

関西大学文学部に「初等教育学専修」が誕生

~ヒューマンで行動力のある未来の小学校教師の育成をめざす~

関西大学文学部では、小学校教員養成課程「初等教育学専修」（文部科学省に課程認定申請中）を、2007年4月から新設します。

「初等教育学専修」は、新しい時代の学校現場で活躍する小学校教師の養成を目的に、小学校教諭1種免許が取得できる本学初の履修コースです。

ここでは、単なる免許取得に向けたカリキュラム編成ではなく、総合大学のメリットを活用し、さまざまな専門分野の教員が講義を担当することにより、幅広い教養に支えられた「ヒューマンで信頼され行動力のある未来の小学校教師」を育成します。

また、9年間の義務教育を広く見通すことのできる教師になるため、文学部における中学校教諭1種免許（国語、社会、英語）の取得を履修モデルに組み込みます。

具体的には、早い段階から学校参加やフィールドワークを体験し、教科指導力や子どもについての理解力、コミュニケーション能力など、小学校教員に必要な能力を実践的に学ぶとともに、英語や情報教育、特別支援といった教育の今日的な課題についても取り組めるよう、多様な知識と実技能力を養成します。



子どもたちの興味や好奇心が多様化・複雑化しつつあるなか、関西大学文学部総合人文学科初等教育学専修では、その一つひとつに目を向け、理解し、無限の可能性を伸ばすことができる教員の育成をめざします。

「初等教育学専修」の特色あるカリキュラム

1. 学校現場の新しい課題に実践的にチャレンジしていく授業科目

小学校教師は、9教科をはじめとする教育課程のすべての領域を担当するとともに、日々めざましく成長する子どもたちに関わっていく、複雑で高度なプロフェッショナルです。そのため、

「初等教育学専修」では、各分野において学校現場の実践的課題に精通し、指導的な立場にある第一線の専任教員と講師陣による多様な授業科目を配置し、今日の学校現場が追求する新しい課題に実践的にチャレンジしていく授業を展開します。

2. 4年間を通じた「学校参加」「教育実習」による体験的な学習

日々成長する子どもたちと積極的に関わり合い、人と人との新たなつながりを築いていくことのできる教師をめざし、「初等教育学専修」では、学校現場での体験的な参加や実習を1年次から体系的に導入し、4年間を通じて「教師になるための学び」を実地に行うこと重視します。

教育委員会との協力関係のもと、連携協力校において、子どもたちの成長と日々関わり合い、年間を通じて小学校現場での教師の仕事に参加する体験的な学習に取り組みます。そのピークは、3年次に行われる5週間の教育実習であり、それは「教師になるための学び」を存分に発揮する機会となります。



3. 学びのデザインと創造のための問題解決的な共同作業



学校現場において特色ある教育活動を展開することできる教師をめざし、「初等教育学専修」では、今日の学校改革の全般的なテーマに加え、英語活動、IT利用、芸術教育、総合学習、小・中一貫教育、放課後教育活動、コミュニケーション教育、特別支援教育など、子どもたちの学び合いの活動を創造的にデザインするためのケース・スタディを積極的に取り入れます。学校現場での具体的な課題や事例の調査研究、実践的な問題解決のためのコラボレーション、ディスカッション、プレゼンテーション等に取り組むことを通して、今日の教師に求められる基本的なリテラシーや、創造性に富んだ未来の教師として成長していくことのできる能力を培っていきます。

「初等教育学専修」の募集概要

定員は1学年50名。そのうち30名を2月の一般入試（A・S・S 2日程）で募集、残りの20名は2年次専修分属時に募集します。一般入試では、文学部一括募集枠との併願が可能です。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>